

活動名 東海・北陸 地域ブランド総選挙 — 能登ふぐ —

団体名 新ゼミ

代表者名 経済学部 新 広昭

はじめに（背景・目的・目標）

「地域ブランド総選挙」は、地域団体商標制度の普及とさらなる活用促進を目的に特許庁が開催した事業です。昨年度は九州ブロックで開催され、2018年度は東海・北陸ブロックでした。総選挙の内容は、地元大学生と地域団体商標権者がチームを組み、取材に基づく地域の商品（サービス）の魅力を「Instagram®」上で発信するとともに、今後の新商品展開やビジネスのアイデア、PR方策等を検討するというものです。東海・北陸では、富山、石川、福井、愛知、岐阜、三重、静岡の7県から18の地域団体が参加し、それぞれ地元大学とマッチングして総選挙に挑みました。石川県からは2団体が参加し、いずれも本学のゼミの学生が担当することになり、新ゼミでは3人の学生が「能登ふぐ（能登ふぐ事業協同組合）」とタッグを組みました。

活動内容

総選挙のプロセスですが、総選挙には予選と決勝戦とがありました。予選は、学生が担当の地域ブランドを取材し、その模様を「Instagram®」に投稿しました。投稿期間は9月～10月の2か月間です。その取材や投稿の内容及び投稿に対する「いいね！」の数、さらには今後の新商品展開やビジネスアイデア等の内容の審査により、決勝戦に進むチームが10チーム決定されました。

名古屋にて開催する決勝戦で、各チームのプレゼンテーションにより、最優秀賞、各賞の受賞チームが決定されました。

① 取材活動

新ゼミの学生3名（2年生）は、チーム名を「ふぐまるチーム」と名付け、能登ふぐ事業協同組合理事長ですぎ省水産社長の杉原さんをはじめ事業協同組

合の方々と協力して、ふぐはえ縄漁の体験、能登ふぐジャーキーを生産しているスギヨの見学、七尾フィッシャーメンズワーフの取材、能登ふぐ事業協同組合設立5周年記念能登ふぐパーティーでの地域ブランド総選挙協力依頼のアピールなど精力的に取材活動を続け、「Instagram®」に投稿しました。

取材のハイライトは、ふぐはえ縄漁の体験で、これは、石川テレビ、富山テレビ、福井テレビ3局の共同制作番組、「ぐっさんの北陸3県どんぶりハンター！」の撮影に参加したもので、番組に出演し、地域ブランド総選挙でInstagramを用いた能登ふぐのPRを行っていることを番組内で宣伝しました。



ふぐはえ縄漁の体験取材



はえ縄漁体験でのテレビ取材の様子

こうした取材活動の様子を「Instagram®」に 166 件投稿し、フォロワーは 2,400 を超えました。「いいね！」は、投稿 1 件あたり平均 200 件程度ありましたので、総数で 3 万 3 千件程度ありました。

② 決勝大会

ふぐまるチームは、決勝大会の 10 チームに選ばれ、12 月 12 日（水）に名古屋国際センターでプレゼンテーションに臨みました。



決勝大会（名古屋）でのプレゼンの様子

ふぐまるチームは、当日のプレゼンテーションに向けて何度も練習を重ね、会場入りしてからも準備を行い本番に臨みました。プレゼンテーションの内容は、「能登ふぐ事業協同組合」と協働し、これまで取材してきた活動内容を元に、能登ふぐブランドの価値分析を行い、ビジネス展開プランとしてサッカーチームに見立てた「能登ふぐジャパン」、中国系の観光客を対象とした「能登ふぐ Happy 昇龍ツアー」等のインバウンド観光にも着目し、独自の提案を行いました。



11 種類の能登ふぐで構成した能登ふぐジャパン
(決勝大会でのプレゼン資料の一部)

その結果、発展項目の委員評点最高チームに授与される「発展賞」という、経済学部らしい賞を受賞することができました。



発展賞受賞後、能登ふぐの展示ブース前で
記念写真

成果、結果の考察

下記の文章は、ふぐまるチームの学生の一人が書いた感想ですが、これを見ると、地域の方にとって学生の若い感覚にふれたことは大きなメリットであったことがうかがえますし、学生にとっても大きな成長につながったのではないかと思います。

「能登ふぐを多くの人に知ってもらおうと、夏からふぐまるチームの皆や先生、能登ふぐ事業協同組合、すぎ省水産の方々と協力しながら活動を行い、決勝戦では発展賞を頂きました。事業協同組合の方々には大学生の発想はおもしろいと言われることが多くありました。しかし、この賞をいただいたのは、私たちが SNS を使って発信し始める前から、事業協同組合の皆様が地域を活性化しよう、ふぐを広めようと尽力していたからだと思いました。能登ふぐという商品を取り巻く人々と関わり、想いを知ることでとても大切なことを学んだように感じました。」

今後の課題、展望

能登ふぐは七尾市の事業者が中心となって取り組んでいる地域ブランドです。七尾市と本学とは 2018 年 3 月に包括連携協定を締結していますが、能登ふぐの他にも七尾市に本店のある「のと共栄信用金庫」との連携事業にも取り組んでおり、今後、本学と七尾市の様々なステークホルダーとの連携が発展していく契機になればよいと思います。